

## 平成26年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	滝沢 道夫
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3516
<b>事務事業名</b>	11715 道路維持補修事業										
<b>所 属</b>	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
<b>施 策</b>	06033500 橋や道路整備の推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費									
	<b>事業</b>	030000 道路維持補修事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
道路法に定める道路管理者として安全に配慮した維持管理を実施する。						建設から整備（作るから長く使う）に転換し、既施設の維持管理は今後益々重要度が上がるため、計画的な維持管理と緊急補修の対応により道路施設の長寿命化を図る。					

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	修繕工事 道路69件、側溝46件、水路20件、舗装62件。 。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
修繕工事(道路、側溝、水路、舗装等)	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		95,990	81,500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	2,862	2,000
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		93,128	79,500
人員数(人)	正規職員	2.5	1.5
	嘱託職員	0.7	0.7
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	17,145.0	10,287.0
	嘱託職員	1,907.5	1,907.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	19,052.5	12,194.5
市民一人当たりの経費		2.2	1.8
総額		115,042.5	93,694.5

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	968	
15節 工事請負費	90,184	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,838	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,500	
15節 工事請負費	70,000	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	10,000	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	舗装、水路、側溝等の道路施設の経年劣化等による、損傷の発生頻度の増加により市民の安全安心な生活環境を維持しなければならない状況があり、益々必要性は高まっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	市民要望を満足するするには多額の費用も要することから、緊急性等から順位付けを行い実施することにより、有効性が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	道路施設の損傷調査を行い最適な修繕方法を採用することで効率性は図られる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
市民要望全ての対応は困難である。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
各町の修繕要望が多いことから、緊急性等から優先順位を決め、効率的に実施する。		各町の要望箇所を優先順位を決め、緊急度の高い箇所から実施していく	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	